

## 使い方

釣り竿をフックに置いて保持させます。ご使用になる際は、左右のフックの高さを調節して、釣り竿全体ができるだけ水平になるようにします。

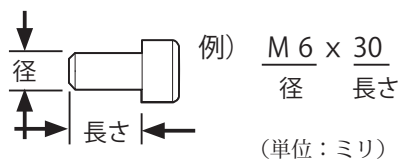
釣り竿を斜めにするとうり落ちてしまうことがありますのでご注意ください。必要に応じて樹脂リングで竿をフックにとめておきます。



## 注意していただきたいこと

- お客さまによる組み立て作業が必要となる商品です。弊社では組み立てサービスは行っておりません。組み立てに必要な工具として3ミリ六角レンチと5ミリ六角レンチは付属しています。しっかりと穴の奥にまで差し込んでから回してください。
- 釣り竿はバランスを取って脱落しないように掛けてください。特にリールが装着されているものは重量的にアンバランスになっていますから、十分にご注意ください。
- 竿先やグリップに衣服を引っかけてしまい脱落させたり、細い竿先を折ったりしないよう、ご注意ください。
- 高いところに釣り竿を保管するのに脚立などを使用する際は、転倒・転落しないよう十分にご注意ください。
- 支柱は別売です。設置に関する注意事項は、支柱側の取扱説明書をご覧ください。

## ボルトサイズの読み方



## 本商品について

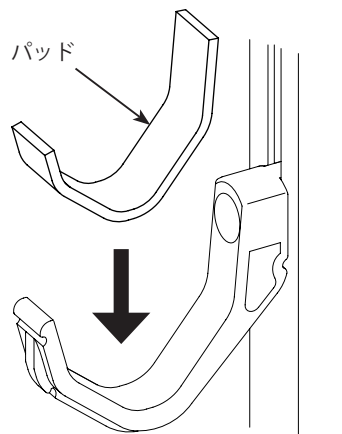
「ホビータワー HF-1 ロッドフローティングキット」は、弊社製ホビータワーの「HT-1000 タワー式支柱」もしくは「HS-1000 自立式支柱」の中支柱部に装着して、5本の釣り竿を水平に保持することができる専用アタッチメントです。

組み立て前にこの説明書を最後までしっかりと読みいただき、正しく安全にお使いください。

(支柱および釣り竿は別売です)

## 傷防止パッドについて

フックにロッドを置いたときに、ロッドへの傷付きが気になる場合は、添付の傷防止パッドをフック内面に貼り付けてお使いください。(図1)



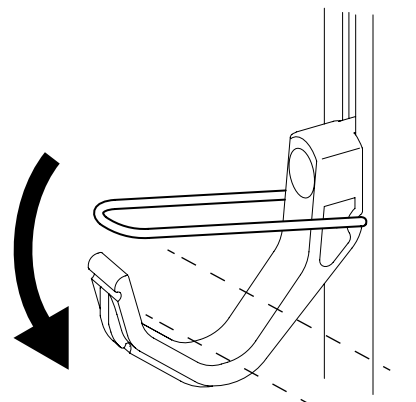
(図1)

## 樹脂リングについて

釣り竿が不意に脱落したりしないように、フックに置いた釣り竿は添付の樹脂リングでとめておくようにすることを勧めます。

樹脂リングを使うには、いったんフックを止めているボルトを緩めフックを吊り下げバーから浮かせた状態で、裏面にある溝に樹脂リングを通して挟んで保持します。(図2)

釣り竿を置いてから、樹脂リングをフックに2ヶ所ある溝のいずれかに掛けることで、釣り竿をとめることができます。



(図2)

## 品質保証期間

本商品の品質保証期間は、お買い上げ日より起算して**1年間**です。

製造上の瑕疵による不具合については、無償交換または修理をいたします。

ただし自然摩耗や通常想定される経年劣化、消耗部品、誤った使い方による破損などについては保証の対象外となります。

製造元

**MINOURA**

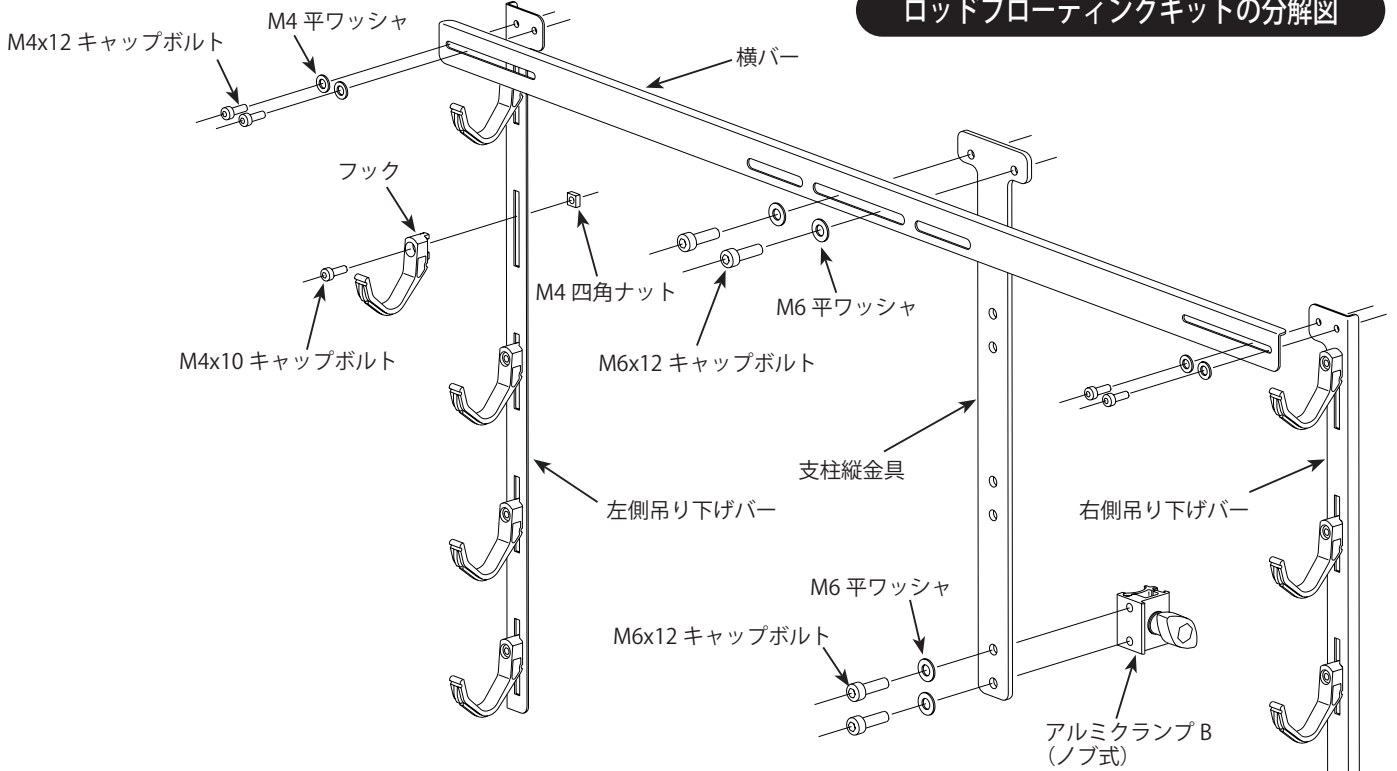
株式会社 箕浦

日本製

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505 / Web: [www.minoura.jp](http://www.minoura.jp)

Mail: [minoura@minoura.jp](mailto:minoura@minoura.jp) (営業) / [infodesk@minoura.jp](mailto:infodesk@minoura.jp) (カスタマーサービス)



ロッドフローティングキットの組み立てと装着

使用する工具： 3ミリ六角レンチ  
5ミリ六角レンチ (どちらも付属)

1 フックの取り付け

まず左右の吊り下げバーにフックを各5つ、M4x10 ボルトと平ワッシャそして四角ナットを3ミリ六角レンチを使って取り付けていきます(図3)。四角ナットは各フックの裏面にある2つの爪の間にはめ込まれることで回り止めになることをご理解ください。フックに釣り竿保持用の樹脂リングを取り付ける場合は、ここで装着します(図2)。



左右の吊り下げバーには、折り曲げ位置と上端の形状によって左右の別があります。図3を見て正しくお使いください。

(図3)

2 吊り下げバーの取り付け

フックを取り付け終わった左右の吊り下げバーを横バーの両端に、M4x12 ボルトと平ワッシャを3ミリ六角レンチを使って取り付けます。吊り下げバーは横バーの裏側に取り付けます(手前側ではありません)。必ず左右2ヶ所ずつ、合計4ヶ所を止めてください。

3 支柱縦金具への取り付け

横バーに支柱縦金具を、M6x12 ボルトと平ワッシャを5ミリ六角レンチを使って取り付けます。

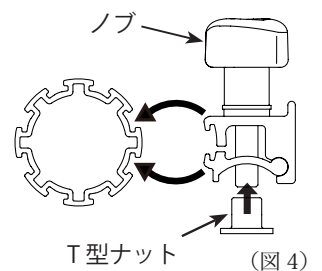
4 アルミクランプの取り付け

アルミクランプ B を、M6x12 ボルトと平ワッシャで支柱縦金具に取り付けます。ノブは左右どちら側でも構いません。支柱縦金具にはクランプの取付孔が3カ所にあります。どれくらい天井に近づけて釣り竿を保管するかによって使い分けます。下になるほどフックは天井に近い位置になります。

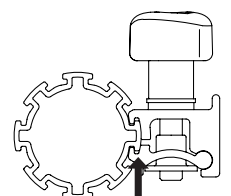
5 支柱への取り付け

アルミクランプ B を以下の要領で中支柱の溝部分に取り付けます。

1. T型ナットが抜けない程度にノブを緩め、クランプを開きます。
2. 開いたクランプの先端の爪で、中支柱の溝の凸部を挟み込みます。(図4→5) やや強く溝の中に押し込むようにして、確実に凸部を挟みます。
3. ノブを締めて、クランプを固定します。  
アルミクランプ B の最大荷重は 10kg までです。搭載するものはそれ以下の重量に抑えてください。
4. 取付位置をずらす場合は、ノブを緩めて溝の上をスライドさせるか、あるいはいったん支柱から取り外してから改めて付け替えてください。



(図4)



(図5)

6 最後に、保持する釣り竿に最適になるよう各部の上下左右位置合わせをしてから、仮止めしておいたボルトをすべてしっかりと締めて完了です。